

平成三十年

9月号



山岳救助隊 ニュース



埼玉県警察
山岳救助隊
秩父警察署
Tel.0494-24-0110
小鹿野警察署
Tel.0494-75-0110

本紙は埼玉県警察ホームページ【暮らしの安全 → 山岳情報 → 山岳救助隊ニュース】に掲載されています

平成30年【7～8月】埼玉県内の山岳遭難発生状況 件数9件10人（重傷2人・軽傷1人・無事7人）

発生日	山岳名	PT構成	年齢・性別	遭難状況等	死傷別
7月15日	矢岳	単独	70代・男性	下山中、登山道ではない尾根に入り込み道迷い	無事
7月22日	横隈山	単独	80代・男性	下山中、登山道ではない尾根に入り込み道迷い	無事
7月30日	横瀬二子山	単独	30代・男性	午後5時入山、日没により登山道を見失い道迷い	無事
8月2日	大高山	単独	20代・男性	午後3時入山、道を間違え引返すも復帰できず道迷い	無事
8月5日	小鹿野二子山	5人	60代・男性	東岳を下山中、鎖場で足を滑らせ滑落	重傷
8月12日	白岩山	2人	30代・男性	疲労困憊でビバーク、翌日下山するも疲労で行動不能	無事
8月25日	天覚山	単独	30代・男性	天覚山から東時間で道に迷い、急な斜面で行動不能	軽傷
8月25日	天目山	単独	30代・男性	溪流釣り中、斜面を高巻いたところ、足を滑らせ滑落	重傷
8月26日	武甲山	10人	30代・男性 10歳未満・男児	パーティから遅れていたことから別ルートで下山するも道に迷い、日が暮れて行動不能	無事 無事

数ある山岳遭難の形態の中で「道迷い」の発生は多く、平成29年に全国で発生した山岳遭難の約40%を占め、次いで「滑落」が約17%となっており、この割合は毎年ほぼ変わっていません。

「道迷い」と聞くと「自分は迷わないから平気。」「すぐに登山道に戻れるよ。」と思う方もいると思います。しかし、山のなかでの道迷いは、誰にでも起こり得ることであり、思っている以上に危険が伴います。道に迷うと不安や焦りが生じ、慎重さが欠けたり、的確な判断ができなくなるなど、滑落・転倒などの大事故につながります。



山岳遭難防止キャンペーンを山の日に実施

では「道迷い」を防ぐにはどのようにすればいいのでしょうか。

まずは、目標とする山、コース、時間等の把握、余裕をもった時間の設定、装備やメンバー等、綿密な計画を立てることが重要です。綿密な登山計画を考えることは、現在の自分や同行者の技術、体力の把握につながりますし、登山のシミュレーションになるので山岳遭難の予防・回避に役立ちます。また、完成した登山計画は登山ポストや地元警察に提出するとともに家族や仕事の同僚等にも渡しておきましょう。遭難が起きた場合の早期の発見、救助に繋がります。そして、登山の日程に合わせて体調管理をしっかり整えましょう。

次に装備品の活用が重要となります。最近ではスマートフォンやGPSの普及により方位や現在地がすぐに分かります。これらを活用するとともに、電池切れや故障の時に備えて登山地図やコンパスも常備し使い方を熟知しておきましょう。また、どんなに簡単な山でも雨具、防寒具、ヘッドライトはもちろん、非常時に備えエマージェンシーシートやツェルト、笛、救急用品等も携行しましょう。

最後に、実際に山を登り始めたときは、分岐や目標物となる通過地点で地図と照らし合わせ進行方向を確認するとともに、同じ道を下山する場合でも登りと下りでは景色が変わって見える場合があるため、周囲をよく観察しながら行動しましょう。もしも道に迷ったときは位置が分かるところまで引き返してください。無理に進行すると、思わぬ事故につながります。山岳遭難のリスクを少しでも減らすため、登山中の対処だけでなく、事前の準備もしっかり整え安全登山を楽しみましょう。また、最近の遭難発生状況を見ると入山開始時刻が遅いのために遭難するケースも散見されます。これからさらに日没時間が早まりますので早出早着を心掛けてください。

秋山の山岳遭難の防止

● 朝早い時間に出発、目的地に早く到着（早出早着の基本を守る）

日没時刻が早まります。

早い時間に下山または目的地に到着できる時間にゆとりある登山計画を立てましょう。

樹林帯の中では、日没時刻よりも早く辺りが暗くなってきますので注意してください。

辺りが薄暗くなってきた場合には面倒がらずにヘッドライトを点灯して行動しましょう。

秩父市内	日の出	日の入
9月 1日	5時 15分	18時 12分
9月 10日	5時 22分	18時 00分
9月 20日	5時 29分	17時 45分
9月 30日	5時 37分	17時 30分
10月 10日	5時 45分	17時 16分
10月 20日	5時 54分	17時 03分
10月 30日	6時 03分	16時 51分

● 予想外の天気、気象遭難に注意

麓は紅葉でも、山頂付近は積雪といったこともあります。事前に天候情報を収集しましょう。

● 万全な装備を準備

日帰りでも携行品の軽さばかりを追求せず、ヘッドライトや十分な食料など、万が一の場合に備えてビバーク（緊急時に野宿すること）することができる最低限の装備を準備しましょう。標高 100メートル上がるごとに、気温は約 0.6 度下がると言われていますので、防寒着を確実に準備しましょう。

● クマや蜂などの野生動物との遭遇に注意

クマ鈴やラジオ等の音で、人が近くにいることをクマに知らせながら歩くことを心掛けましょう。

秋は蜂の活動が活発になり、黒い服装や、香りがする整髪料等は蜂に狙われやすくなります。

● 落ち葉で登山道が判別しにくい、滑りやすい

落ち葉が積もり、登山道を見失いやすくなっています。また落ち葉は滑りやすいので、転倒、滑落に気を付けましょう。

● キノコ採りや紅葉狩りで道迷い

足元や景色を見ることに夢中になり、道標を見落として、気が付いたら道迷いということがこの時期には起こり得ます。

道に迷ったときの行動として、**元来た道に戻る、尾根やピークに上がる**ことが基本です。沢を下った場合、滝や崖から滑落して、最悪死に至る大きな事故に繋がります。



沢登り訓練の状況

携帯版 登山届

★携帯電話の電波が入る場所で、いつでも登山届を提出することができます。

★届出の内容は必要最小限の入力となっています。

★埼玉県内の山登り等を計画している方は、ぜひご利用ください。

スマートフォン用



携帯電話用



※ 注意 ※

平成 30 年 7 月 1 日をもって、
 ・従来型の携帯電話（フィーチャフォン）
 ・android4.4 以前のスマートフォン
 ・ios4 以前のスマートフォン
 を利用した、電子申請による登山届の提出のサービスは終了しました。